

<先端設備等導入計画提出における チェックシート>

以下必要事項を記入し、本チェックシートを申請書に添付してください。

1.申請事業者について				
事業者名				
所在地（返送先）	〒			
代表者名				
担当者名		メールアドレス		
電話番号		FAX番号		
2.提出書類一覧（提出資料の写し等は手元に保管してください。）			申請者確認	福岡市確認
1	先端設備等導入計画提出におけるチェックシート（本チェックリスト）			
2	先端設備等導入計画に係る認定申請書（原本）・先端設備等導入計画（別紙）			
3	経営革新等支援機関等による確認書			
4	役員名簿			
5	市税の滞納がないことの確認するための同意書			
6	返信用封筒（A4認定書を折らずに返送可能なもの。返信用宛先を記載し、切手（申請書類と同程度の重量のものが送付可能な金額）貼付。）			

先端設備とともに事業用家屋を導入する場合には、以下の3つの書類が必要です。

7	建築確認済証		
8	建物の見取り図（同時に導入する先端設備が記載されているもの）		
9	先端設備の導入計画書		

3.先端設備等導入計画における記載事項について ※番号は申請書・計画の項目番号と対応			申請者確認	福岡市確認
表紙	（申請書）申請者の住所、名称、代表者の氏名の記載及び代表印の押印があるか。			
1	名称等は正確に記載しているか。（3法人番号については個人事業主等は記載不要）			
1	6「主たる業種」の欄には、日本標準産業分類の中分類を記載しているか。			
2	計画期間は3年、4年、5年のいずれかとなっているか。			
3-①	自社の事業概要を記載しているか。			
3-②	自社の経営状況について、各種財務情報の分析し、具体的数字を用いた記載となっているか。			
4-(1)-①	具体的取組内容は導入する設備や取組内容の概要を記載しているか。			
4-(1)-②	将来の展望は、設備等導入による効果について具体的に記載しているか。			
4-(2)	先端設備等の導入による労働生産性が、年平均3%以上の伸び率となっているか。			
4-(3)	導入する先端設備の設備名、導入時期、所在地（福岡市内）の記載はあるか。			
4-(3)	導入する先端設備の種類、数量、金額、証明書等の文書番号の記載はあるか。			
4-(3)	設備等の種類別小計の欄には、設備種類ごとの小計値を記載しているか。			
4-(3)	対象設備が事業用家屋である場合、取得価額の合計額が300万円以上の先端設備等とともに導入されたものか。			
4-(3)	対象設備が構築物である場合、旧モデル比で生産性が年平均1%以上向上するものか。			
5	導入に必要な資金調達の方法、金額の記載はあるか。			
4.以下の書類は、「固定資産税の特例措置」を受けようとする場合、提出が必要です。			申請者確認	福岡市確認

該当するものに を入れてください。

固定資産税特例措置を受けない（以下の書類は提出不要）

認定申請書と「工業会証明書の写し」を一緒に提出

1	工業会証明書の写し（原本は申請者で保管）		
---	----------------------	--	--

「工業会証明書の写し」を、（ 年 月）頃提出予定

1	工業会証明書の写し		
2	先端設備等に係る誓約書		

ファイナンスリース取引であって、リース会社が固定資産税を納付する。

1	リース契約見積書の写し		
2	リース事業協会が確認した軽減額計算書の写し		

福岡市使用欄

受付日	年 月 日	市税 照会： /	回答： /	暴排 照会： /	回答： /	受付者：
（備考欄）						